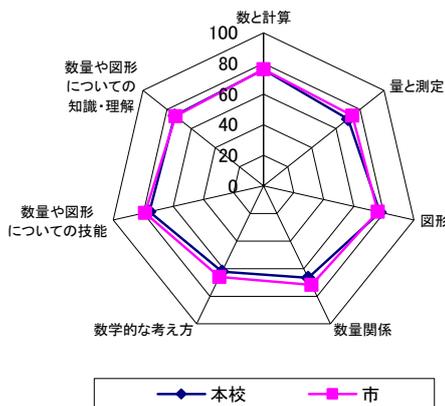


# 宇都宮市立清原北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	76.0	76.2	72.9
	量と測定	70.1	73.6	70.6
	図形	77.4	76.0	72.1
	数量関係	66.7	71.8	66.9
観点別	数学的な考え方	62.1	65.9	58.0
	数量や図形についての技能	75.9	78.9	76.2
	数量や図形についての知識・理解	73.7	73.1	70.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、ほぼ市の平均と同じである。</p> <p>○小数や分数の計算はおおむね市の平均を上回っている。特に、分数のかけ算・わり算の正答率は、90%を超えている。</p> <p>●問題文から並び方の規則性を見出し、理由を記述する問題の正答率は、市の平均とほぼ同じで40%だったが、誤答では無回答が40%を占めていた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の学習などで計算のドリル学習を継続した成果が表れている。</li> <li>授業の中で、自分の考えや理由を記述する経験を積み、順序立った説明の仕方や、根拠を挙げて理由を述べる方法などを指導していく。</li> </ul>
量と測定	<p>平均正答率は、市の平均を3ポイント下回っている。</p> <p>○面積や体積を求める問題はおおむねできていく。円の面積を求める問題の正答率は、90%と高い。</p> <p>●単位量あたりの大きさと速さについては、平均を求める問題の正答率が66%、速さの問題の正答率が66%と、どちらも市の平均を12ポイント下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位量あたりの大きさについては、宿題等で5年生の復習を十分に行い、もとにする量・比べられる量・割合の関係や、平均の求め方をしっかりと理解させる。</li> <li>速さについては、道のり・時間・速さの関係をしっかりと理解させ、公式を身に付けさせ、活用できるようにする。</li> </ul>
図形	<p>平均正答率は、ほぼ市の平均と同じである。</p> <p>○三角形の作図の正答率は、95%と大変高かった。</p> <p>●三角形や六角形の内角の大きさを求める問題の正答率は66%、線対称の問題の正答率は61%で、市の平均を5ポイント下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正多角形や合同な図形、対称な図形について、図を描くなどの体験的な活動をもとに、図形の構成要素や性質について確認をする。</li> </ul>
数量関係	<p>平均正答率は、市の平均を5ポイント下回っている。</p> <p>○比例・反比例の問題については、それぞれ正答率が90%と71%であり、どちらも市の平均を上回っている。</p> <p>●割合と比の問題では、帯グラフをもとに比較量を求める問題の正答率が57%と、市の平均を16ポイント下回った。また、調理という具体的な場面において、比の考え方をもとに材料の分量を求める問題の正答率は、19%と、市の平均を10ポイント下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭科で材料の分量を考えさせたり、社会科で円グラフや棒グラフをもとに実際の量を求めさせたりするなど、他教科とも関連させ具体的な活用の場面を設定する。また、それらの経験から割合や比の考え方や有効性を理解させ、さらに実生活の中でも活用できるようにしていく。</li> </ul>